

臨床研究に関する情報公開について

岡山旭東病院では以下の通り、患者さんの診療情報を用いた研究を実施しております。
インフォームド・コンセントを実施しない場合において、「人を対象とした生命科学・医学系研究に関する指針」に基づき、情報公開いたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。ご自身のデータについて、本研究への利用を望まれない場合には、担当責任者にご連絡ください。

西暦 2025 年 7 月 1 日作成

研究課題名	生成 AI を用いた診療録監査の有効性
研究責任者	事務部 医療情報課 海野博資
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2025 年 8 月 31 日
既存試料・情報の収集期間	2025 年 1 月 1 日～2025 年 1 月 31 日
研究対象者	2025 年 1 月に入院された外傷性慢性硬膜下血腫の方。
研究の意義と目的	診療録監査の効率化と質の向上を目的として、生成 AI を用いた診療録監査の有効性について、外傷性慢性硬膜下血腫の単一症例を元に、その効率性と精度を検証した。
研究の方法	外傷性慢性硬膜下血腫と診断され、慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術施行症例。経過記録と退院時要約を監査対象とした。対象症例の DPC データ及び当院の「記載内容評価基準」（4 段階評価：優秀・適切・不十分・要改善、記録なし・非該当）を学習させた生成 AI を用いて監査を実施した。経過記録 14 項目、退院時要約 8 項目を設定し評価させた。AI 監査結果と監査担当者の評価を比較し、精度、効率性、課題を分析した。
利用する試料・情報	入院時記録、病態、患者家族説明、毎日の状態、身体的所見、入院治療の内容・経過、診断根拠などのカルテ情報
個人情報の保護	個人情報は削除し、どのデータが誰のものか分からなくして、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間 岡山旭東病院 医療情報課 診療情報管理室で保存します。電子情報はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他紙媒体の情報は施錠可能な保管庫で保管します。
試料・情報の利用の停止について	患者さんまたはその代理人のご希望により、患者さんが識別される試料・情報の提供とも利用を停止することができます。試料・情報の提供の停止を希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。
問い合わせ先	公益財団法人 操風会 岡山旭東病院 研究担当責任者:海野 博資 連絡先(電話番号) 086-276-3231(平日:9 時～17 時)